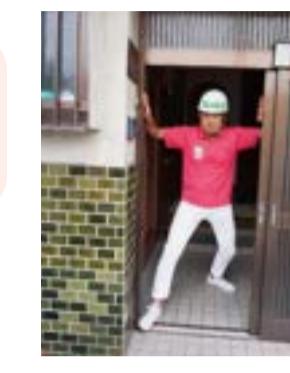


Q1 地震が起きたら、どう対処するの？

とにかく頭を守る体勢をとるんや。地震で一番大切なことは、揺れている時間(直下型で数十秒、海溝型で数分間)を、「どうしのぐか」にかかるってねん。火元へ近づくのは揺れが収まつてから! 台所は危険なものがいっぱいあるところやし、都市ガスは震度5以上で勝手に止まるから!

とにかく頭を守るんや!

テーブルの下などに隠れて頭を守るんや! そんで、テーブルの脚にしつかりつかまって!



逃げ道確保! これも揺れが収まつてからやで。慌てて外へでたら逆に危ないで!



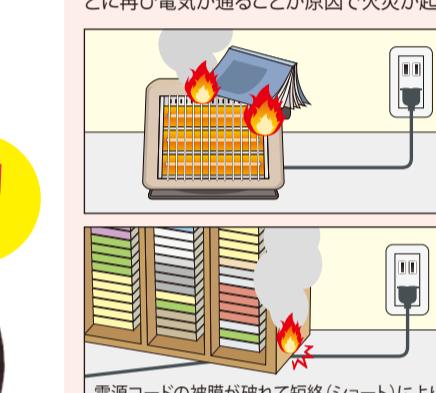
ブロック塀は崩れてくる可能性があるからすぐ離れてや!

Q2 逃げる時は、どうするの？

揺れが収まった後に注意が必要なのが「火災」や。家を出て避難するときは、必ずブレーカーの主電源を「切(オフ)」にせなあかん。阪神淡路大震災における火災原因の6割強は「通電火災」やつてん。「通電火災」とは、一度「停電」した後に、破損した電源コードや家電に電気がもどつて、「漏電」して火災になってしまふこと。今すぐブレーカーの場所をチェックしてや!



ブレーカーを切つていないと…停電が発生し、その後電気が復旧した際、可燃物が落とした電気ストップや破損した電源コードなどに再び電気が通ることが原因で火災が起きる。



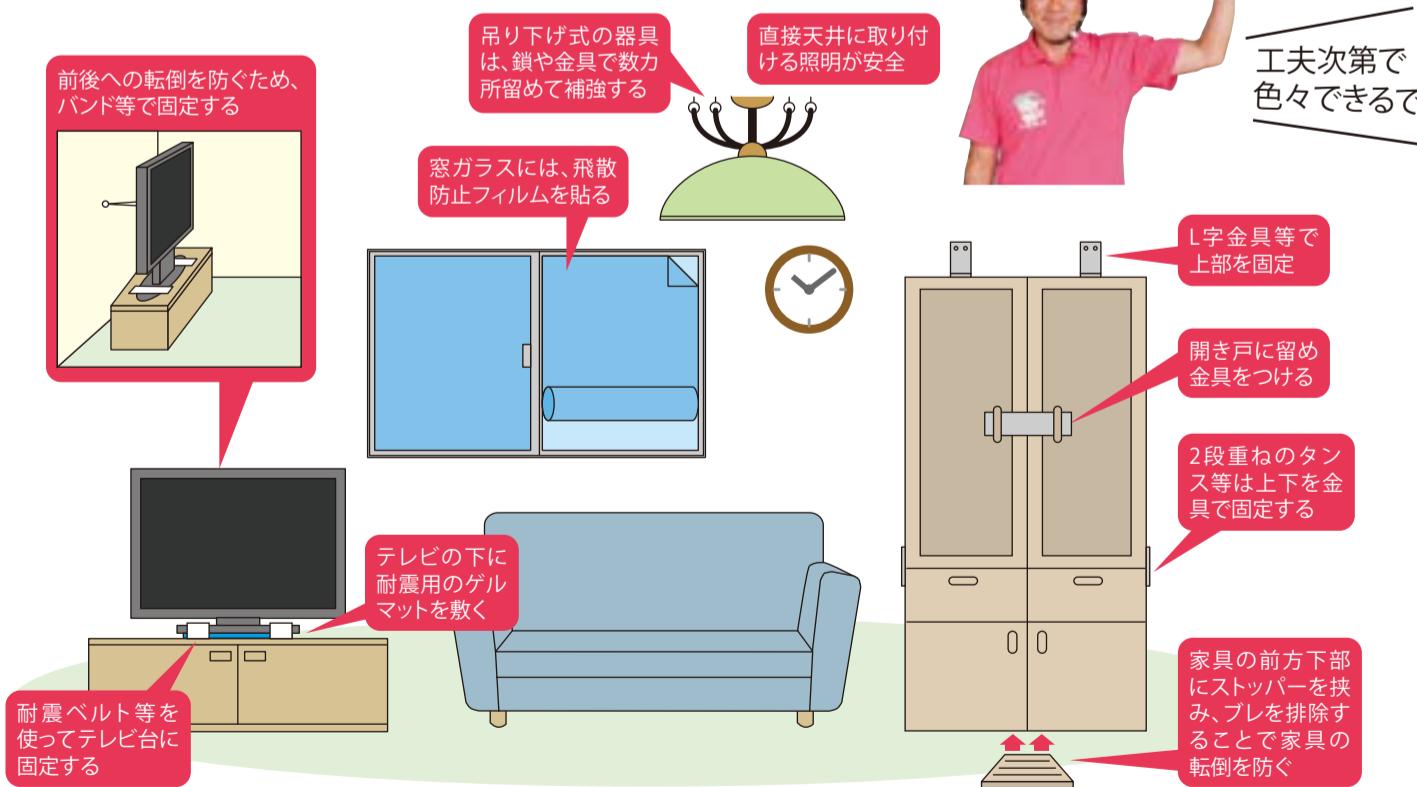
僕は生野区役所で11年間防災を担当している「はまちゃん」といふ濱崎です。先日(6月18日)に生野区でも震度5弱を観測する「直下型」地震が起きました。みなさんにはその時、どう行動しましたか? 何かをできただしさうか。僕は揺れが収まるまで、家族への声掛けくらいで何ができるませんでした。大阪市では今後30年以内に震度6弱以上の揺れが来る海溝型地震発生の可能性が70%以上もあります。もはやいつ起こつてもおかしくないレベルです。7月の豪雨もあつたし、災害への心構えと備えがほんまに大切。今回の地震と豪雨も踏まえて、みなさんが疑問不安心に思つていいことに対しても、「命と財産を守る」ために必要なことをお伝えしたいと思います。今この時にできることをやってください。

防災のススメ

特集 生野区役所防災担当「はまちゃん」が伝えたい

Q3 家の中の耐震対策はどうするの？

めっちゃ揺れてる時は、動くことなんてできへんから、家具が倒れんように固定したり、ガラスが割れんように対策したことが大切やで。足ヶガしたら避難するのも大変やねん。先手を打つ! 「倒れてこない、落ちてこない」環境を作るのが大切やねん。デパートや百貨店とかで、いろんな防災グッズが手に入るし、身近にあるものでも何とかなるで! ボクの家では、古くなったネクタイとかベルトやストッキングなど伸び縮みや長さの調節ができるもので対策してるんよ。



はまちゃんプロフィール

濱崎友宏(はまきともひろ)、47歳。妻と2人の娘の4人家族。生野区役所までは自転車で10分。2007年から生野区役所勤務。以来、防災一筋11年。わかりやすい説明に定評があり、昨年度だけでも地域などで174回、のべ一人を超える市民・区民に防災出前講座を行う。



日頃の備えが決め手やで。

Q4 いざ!という時の持ち出し品は?

チェックリストをまとめておいたから、できるかぎり揃えてみて。小さい子供や高齢者のいる家庭はそれぞれに必要なものを追加。まとめてリュックに入れて、すぐに持ち出せるようにしておくこと! 置き場所は、玄関先がベストかも?



持ち物チェックリスト

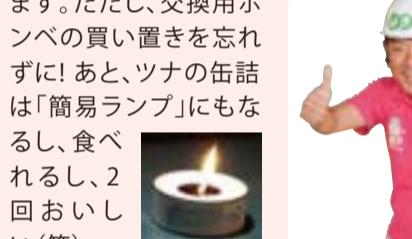
- ラップとウエットティッシュ(これは絶対に準備してください! 断水時にめっちゃ役立つ!)
- 笛 □懐中電灯 □小型ラジオ(ラジオの周波数を貼つておく)
- 携帯電話の充電器(ソーラー式など) □帽子 □地図(緊急避難場所をメモ)
- 筆記用具 □コンパス □軍手 □マスク □雨具 □ナイフ □缶切り
- ガムテープ □ライター □お金(特に小銭) □災害用簡易トイレ
- トイレットペーパー □防寒用ブランケット □ロープ □ゴミ袋
- 家族の写真(他人に見せて探す場合がある) □保険証のコピー □紛失膏や消毒液

揃えてやけ!
できるだけ!



Q5 水や食糧はどのくらい備蓄すれば?

人間1人が1日に必要な飲料水は3リットル。さらに生活用水になると、1日6リットルの水が必要や。食糧は最低でも3分の用意をして欲しい! 基本は調理の必要なないもの。最初の3日は冷蔵庫のものを、その後は保存食を食べるつもりで。そして、カセットコンロもお忘れなく。温かい食事が摂れます。ただし、交換用ボンベの買い置きを忘れずに! あと、ツナの缶詰は「簡易ランプ」にもなるし、食べれるし、2回おいしい笑)



ローリングストック法(循環備蓄)がおススメ



いつも使われる食材を多めに購入し、食べた分だけ買い足していく備蓄法。「ローリング」一回転させながら、「ストック」を蓄えておく。その食材を経験しておけば、災害時でも「慣れた味」の食事がされるので安心。また、食べた分だけ補充するので、いざという時に消費期限切れの配がないのもメリットです。チョコレートやようかんなどカロリーが高いものは、ストックにぜひ入れてください!

Q6 水害の時の避難は?

防災マップで避難場所のチェックを!
区役所にもマップ置いてます。



河川の氾濫や浸水などが予測される場合、
●高齢者等避難開始 ⇒ 避難指示 ⇒ 緊急安全確保
と、段階的に発表され、順に緊急性が上がっていくねん。初期の「避難準備、高齢者等避難開始」が発表された時点で「避難所開設は完了」してから、避難者の受け入れができると覚えていてや。水害時(津波も含む)には少しでも高い所へ避難することや。普段からの準備プラス早めの判断が大事。生野区には36か所の避難所があるんやけど、全て「3階建て以上」の建物になってるんやで~。

Q7 災害時の連絡や情報の取り方は?

避難場所や家族の連絡先などを記入してわかりやすくしておきましょう!

◆我が家のお住まい

◆家族の電話番号

名前: TEL:

名前: TEL:

名前: TEL:

名前: TEL:

災害時に役立つ連絡方法および情報

- 災害伝言ダイヤル171 …[171]をダイヤルして、利用案内に従って、伝言の録音・再生を行なう仕組み。毎月1日・15日はお試し体験ができます(※他の体験日も有)。
- 大阪市防災アプリ…電話での通話ができない場合でも、「文字でのやり取り」は可能な場合がほとんど。
- おおさか防災ネット…気象情報・被害・避難情報などの災害情報を掲載。

